

地産地消、 新スタイルで楽しもう

密を避けた非対面の販売で地産地消を後押ししているのが、生鮮食品EC「クックパッドマート」の宅配ボックス「マートステーション」だ。町田市と連携して市内10カ所にステーションを設置、JA町田市が共同集荷場を運営する。消費者がオンラインで注文すると、生産者が集荷場に青果を届け、指定のステーションに納品される仕組みだ。生産者の中溝章雄さんは「直売所も盛況だが、さらなる販路として期待できそう」と話す。町田の農業は少量多品目栽培が特徴で、町田ならではの品種を購入できるといった楽しみ方も今後、見込めそうだ。

クックパッドマート公式サイト <https://cookpad-mart.com/>



ステーションは町田市民ホールや総合体育館などに置かれている



JA町田市の直売所「アグリハウス鶴川」にある共同集荷場

買い物に行かなくて済むよ！ プランターで野菜づくり

注意点は水をやり過ぎないこと。そして、連作障害を起こすため1回使った土は使わないこと。たい肥や肥料は作物の根に直接触れないように。



成長は子ども
見ているようで
楽しいよ

春から 植え付ける野菜

- ・ピーマン
- ・ミニトマト
- ・オクラ
- ・シシトウ
- ・キュウリ
- ・リーフレタス
- ・ニガウリ
- ・トウガラシ
- ・エダマメ
- ・ハーブ
- ・ナス
- ・ゴーヤ
- ・トウモロコシ

用意するもの

- ・プランター(何をつくるかで大きさが変わります)
- ・野菜用の土(培養土)
- ・たい肥や肥料(少量でOK)
- ・野菜苗または種

農作業受託ネットワーク
NPO法人 たがやす
事務局長 斉藤 恵美子さん



配信ライブは右記から [町田 プレイハウス](#) 検索
The Play House ☎042-851-8311 町田市中町1-18-15-1F

ENJOY NEW NORMAL

お茶の間でライブを楽しむ！ 未知の世界をのぞいてみよう



店長の山本勇二さん 昨年3月、中町の老舗ライブハウス「The Play House」には新型コロナウイルス感染拡大で出演取消の電話が相次いで始めたクラウドファンディング。すると、かつてここを拠点としていたLUNA SEAなどのファンも支援に乗り出し、早々に目標額を達成した。「皆の気持ちに報いたい」。配信ライブは、そんな感謝から始まったものだ。バンドや弾き語りなどジャンルの異なるアーティストが共演するの、ネット配信ならではの「ライブハウスに縁がなかった方も、家で気軽に楽しんでもほしい」と店長の山本勇二さん。専用機材による動画はテレビ番組さながらで、出演することにも価値がありそう。

コロナ禍でも 毎日を楽しもう

フェイスシールドで へ～んしん！



注文は下記から

[ユニプリショップ](#) 検索 (運営: 八昭印刷株)

八昭印刷株 ☎042-725-8821 町田市玉川学園7-10-27



開発者の森さん(左)と上村社長

お店の味を自宅でも、 お花見でも！

「#町田エール飯」でテイクアウトグルメ



コロナ禍で自粛する飲食店を応援しようと、店や市民が撮影したテイクアウトグルメをSNSに「#エール飯」を付けて投稿する別府市発祥の文化が町田市にも広がっている。町田版の発起人は「まちだはまちだプロジェクト」の4人。近隣の飲食店の窮状を知ったのをきっかけにイラストレーター・本田亮さんにアマビエのイラスト提供を経て昨年4月11日に潜水艦のカレーを投稿すると、「#町田エール飯」は瞬く間に広がった。3月1日現在で、インスタグラムには3065件のグルメ写真がずらり。メンバーの塚原結友さんは「お店の情報を三元化できた」と喜ぶ。「#町田エール飯」で素敵なグルメを見つけて、お花見を楽しんでみてはいかが。



「かけ橋になれて良かった」と話す塚原さん

「首かけマスク」でストレス解消

輸入雑貨などを扱うTRYL (トライル) = 本社・つくし野 = は昨年10月、「ネックデザインマスク」の販売をスタートした。ストラップが取り付けられ、外したマスクを首にかけておける仕組み。飲食などの際に置き場に困る不便が解消されると話題になり、すでに1万枚近くを出荷したという。同社の福原正之社長は「マスク市場は飽和状態でしたが、コロナ禍のストレスを解消するお手伝いがしたかった」と話す。速乾性・通気性の高いドライテックの素材を採用し、「夏場はより快適に使っていただけそう」。TRYL の直営オンラインストア (<https://trylplus.com/?pid=154493075>) で販売中。



株式会社TRYL ☎042-706-1355 町田市つくし野1-28-6 <http://trylplus.com/>